

# ペットボトルの水平リサイクルについて

令和5年10月16日  
水道環境部環境課

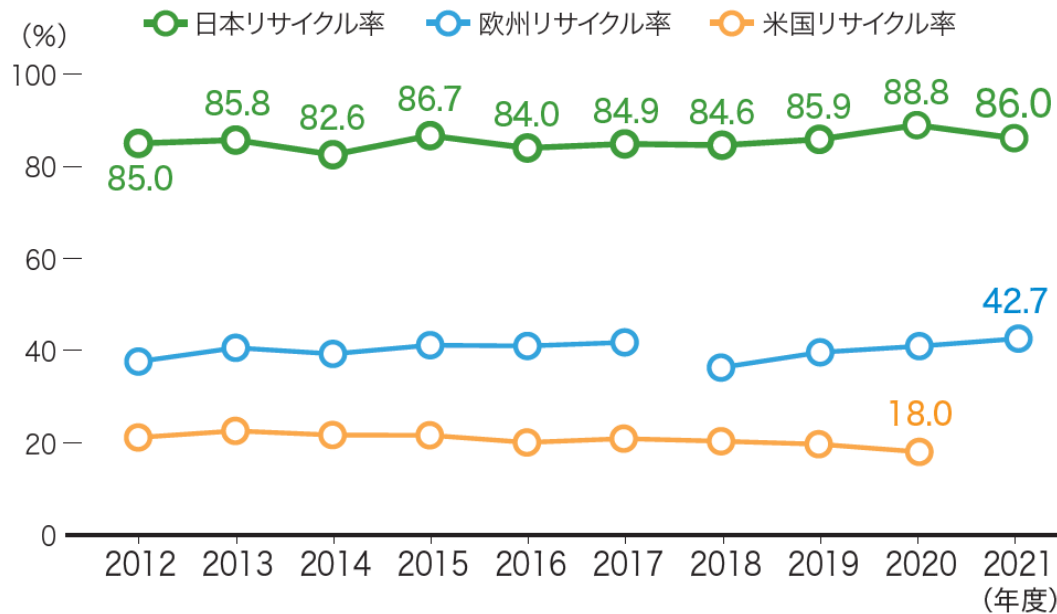


恵那市公式キャラクター エーナ



# ペットボトルの回収率やリサイクル率は非常に高い

## ペットボトルは「資源」として有効利用



<2021年度>

回収率

94.0%

リサイクル  
比率

86.0%

熱回収を含めると約98%が有効利用されている

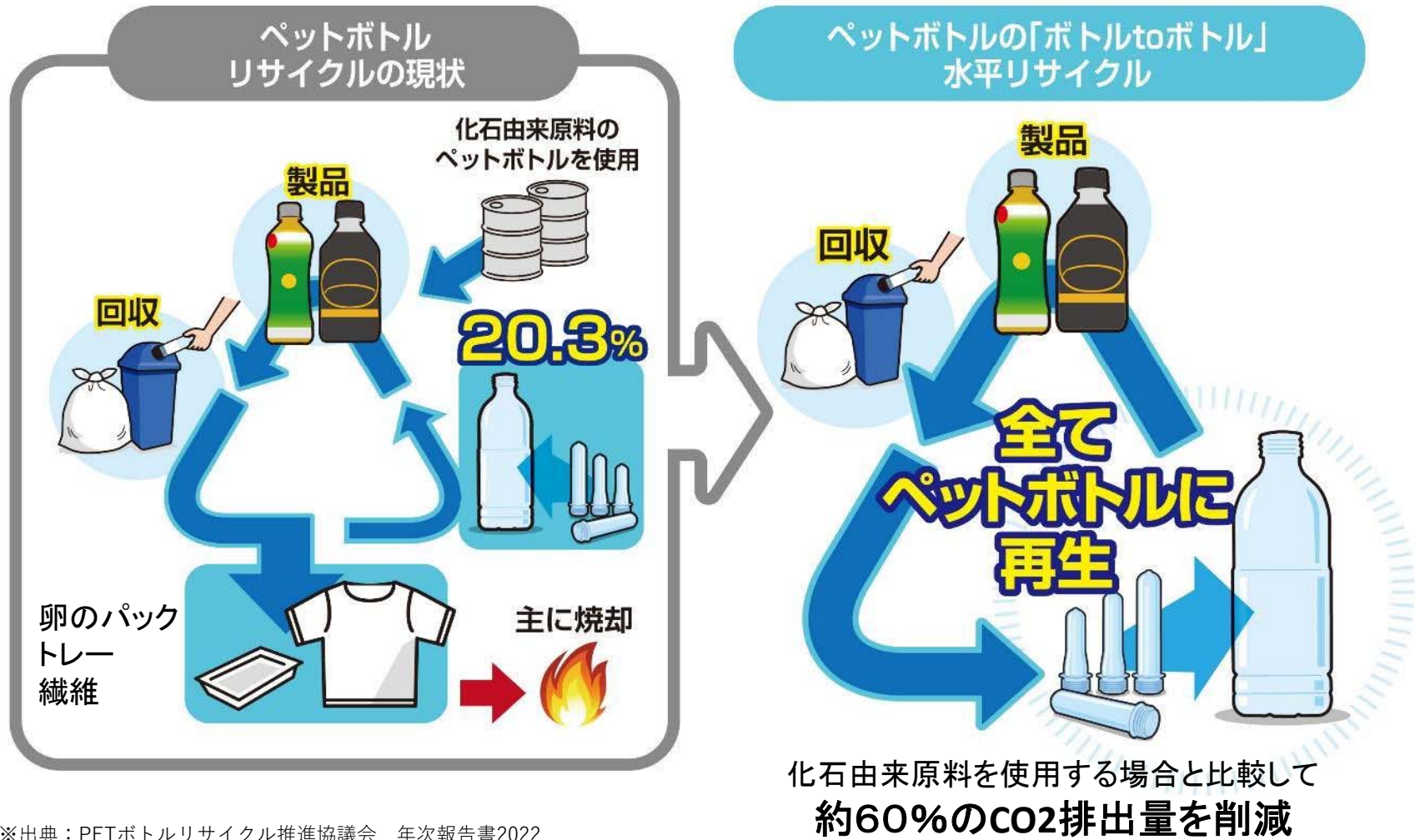
ペットボトルは  
『リサイクルの優等生』

※出典：PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2022





# ペットボトルの水平リサイクルにより 持続可能な社会を実現



※出典：PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2022





# ペットボトルの水平リサイクルに関する協定について

## ○概要

持続可能な循環型社会の実現を目指すため、化石由来原料を使用する場合と比較してCO<sub>2</sub>の排出量が約60%削減される水平リサイクルに関する協定を締結する。

## ○協定者

サントリー食品インターナショナル株式会社(リサイクル実施部門)

サントリーホールディングス株式会社(リサイクル推進部門)

## ○協定締結式

日時 令和6年1月18日(木) 午後2時から

会場 恵那市役所西庁舎3階 災害対策室

## ○サントリー協定実績

約90の自治体と協定 (岐阜県では可児市について2番目)





# 協定内容及び役割

- (1) 市が回収したペットボトルは令和6年4月1日からサントリーが指定するリサイクル業者に売却。
- (2) ペットボトルをリサイクルしやすくするため、回収ルールを変更する。

- ・ ペットボトルの蓋を取る
- ・ ペットボトルの中を水洗いする
- ・ ペットボトルのラベルをはがす(追加)
- ・ つぶせるペットボトルはつぶす(追加)



- (3) サントリーはリサイクル業者を介し、全てをペットボトルに再生。
- (4) 協定締結後、双方協力して市内小学校に環境教育を実施。



# 地域常設資源回収拠点におけるペットボトル回収について

## 1. 概要

令和4年度に市民2,000人を対象に環境施策に関する調査を行った際、地域常設資源回収拠点でのペットボトルの回収要望が多数あった。

このことを受け、市では10月から試行的に4か所で地域常設資源回収拠点でのペットボトルの回収を実施する。そこで課題を洗い出し、令和6年度から全地区の実施に向け、課題をよく検証する。

## 2. 回収実施個所

- ① なかのんリサイクルステーション(中野方町)  
理由：北部地区で一番回収量が多い
- ② 城下町クリーンステーション(岩村町)  
理由：恵南地区で1番目に回収量が多い
- ③ ヒマリーステーション(山岡町)  
理由：恵南地区で2番目に回収量が多い
- ④ おさしまっ子エコステーション(長島町)  
理由：回収場所(敷地)の狭い所





# 地域常設資源回収拠点におけるペットボトル回収について

3. 回収開始時期 令和5年10月1日～

4. 事業の効果

現在、地域常設資源回収拠点で回収を実施している5品目（新聞紙・雑誌・段ボール・雑紙・アルミ缶）にペットボトルを加えた6品目が24時間いつでも出せる。これにより市民の利便性が高まる。



(長島町)



(岩村町)



